

令和8年度第1回成田国際空港警察署協議会

- 1 開催年月日
令和8年5月29日（金曜日）
- 2 開催場所
成田国際空港警察署
- 3 出席者
協議会 7人 警察署 9人
- 4 活動報告
令和8年1月から4月末までの活動報告について
- 5 警察署からの諮問事項
なし
- 6 委員からの要望・意見等

【質問】

留置場の入り口が狭く、救急隊の活動に支障があったが、今後立て替え等の計画はあるか。

【回答】

留置場がある建物は、築30年を経過しているが、現時点で立て替えの計画はない。必要に応じて改修等は検討していく。

【質問】

警察では、どのような暑熱対策を実施しているのか。

【回答】

普段から所外活動時は、水分補給や冷感グッズ等を活用して対策を執るよう指示している。

また、夏の制服にポロシャツ方が導入される予定。その他にもファン付きベスト、水冷ベストが支給されたので有効に活用していきたい。

【質問】

違法駐車や白タク問題への取組として、専従の対策チームを新設したとの報告があったが、昨年との違いは何か。

【回答】

昨年までは、違法駐車等の対策は地域係の当番員が主に対応していたが、今年から3名の勤務員を違法駐車や白タク、ハイヤーによる客引き行為といった交通諸問題に専従で対応させている。その結果、違法駐車は減少など少しずつ効果が出始めている。また、他の地域係が交通問題以外の活動に専念できるといったメリットもある。

【質問】

採用に関して、一般企業でも内定辞退者が多いといった問題を抱えているが、警察では辞退者防止のための取組を行っているか。

【回答】

警察においても、同様であり、その対策として、内定者に定期的に連絡をしたり内定者を集め事前に見学会を行っている。当署でも、定期的な連絡のほか、署長からの手紙を送付する等して辞退防止に努めている。

【質問】

女性研修を開催したとの報告があったが、開催するに当たって配意した点は何か。また、女性職員間でのコミュニケーションツール等があれば教えていただきたい。

【回答】

県警における女性警察官の割合は、約13パーセントと少ないが、30年前は3パーセント程度であったことを踏まえれば、女性の数も増えてきている。先日行った研修会では、それぞれ環境も異なる職員が活発に意見交換できるよう、茶菓子等を飲食しながら、リラックスした雰囲気で行った。

女性職員間のコミュニケーションツールとして、県警のシステムにあるチャット機能を活用して、女性職員専用ルームを立ち上げ、それぞれが持つ悩み出会ったり、施設の問題等を自由に書き込んで意見交換を行っている。

【意見】

空港内の保育施設に不審者が侵入した事件があったが、同事件の1ヶ月前に警察が同施設で不審者対応訓練を実施してくれたので、職員も冷静に対応できたと聞き、大変感謝している。

【 署 協 議 会 の 開 催 状 況 】

